

平成30年5月1日

発行：大島交流センター

電話：45-1006

ニュース・情報

お寄せください。



～重点目標～

- 1) 高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業
- 2) 歴史と自然を守り
 伝統文化の伝承
- 3) 住民どうしのつながりと
 安全・安心なまちづくり



連合自治会より

連合自治会長 川上 憲一

新緑の候と申しますが、すでに初夏を思わせる気温の日もあります。皆様、つつがなくお過ごしのことと存じます。

さて、年中行事のうち5月には下水掃除が予定されています。日程は、各自治会長により協議の上決定し、ご連絡いたしますので皆様の方で梅雨、夏を気持ちよく迎えらるようにご協力下さいます様お願い申し上げます。

施設見学参加者募集について

6月8日(金)、施設見学を実施します。参加していただける方は、交流センターまで申込をお願いします。

記

◎日 時：平成30年6月8日(金)

※8時15分の渡海船にご乗船下さい。帰りは、15時45分の渡海船に乗船予定です。

◎場 所：コココーラ小松工場見学・タオル美術館他

◎申込締切：平成30年5月14日(月)

◎参加費：なし

※昼食は、タオル美術館にて自由食といたします。

※先着20名とさせていただきます。

※交流センターまで、ご持参ください。

大島消防分団からのお知らせ

分団長 矢野 秀綱

平成30年2月に開催の大島消防分団幹部会におきまして、消防分団幹部団員の変更が下記の通り承認されました。今後とも災害時には消防分団員一丸となり、地域の皆さまの生命及び財産をお守りするべく、任務に勤める所存ですので、ご理解とご協力をお願いもうしあげます。

★幹部団員

- 分 団 長 矢野 秀綱
- 副分団長 近藤 和徳
- 副分団長 近藤 勝博
- 部 長 川上 憲一
- 部 長 羽田 敏司
- 班 長 中山 浩二
- 班 長 嶋田 慎二
- 班 長 買場 肇



以上

切り取り線



施設見学参加申込書

(実施日：平成30年6月8日)

氏 名	
住 所	
電話番号	

平成30年度全国統一防火標語

忘れてない？サイフにスマホに火の確認



平成30年度危険物安全推進標語

この一球届け無事故へみんなの願い



5月

- | | | |
|--------|---------------|-------|
| 3日(木) | 憲法記念日 | } 休館日 |
| 4日(金) | みどりの日 | |
| 5日(土) | こどもの日 | |
| 8日(火) | 館長部会 | |
| 11日(金) | 主事補部会 | |
| 15日(火) | 主事部会 | |
| 27日(日) | 市内小学校運動会 | |
| 30日(水) | 高齢者講座：認知症について | |



大島短歌同好

春ふかく黄色く霞む菜畑の
貞子

露もつ花に蝶は染まれり



密そやかに花から葉へと山桜

短かき華やぎ黄昏のなか



ヤエ子

老いの悩み知らぬが如く休耕の

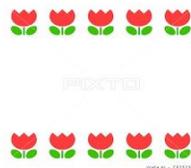
畑の雑草高く伸びゆく



大島俳句同好会

ヤエ子

チューリップことごとく赤咲きにけり



紅椿落ちて重なり及古のごと



【光化学スモッグについて】

毎年、5月から9月が、光化学スモッグが発生しやすい時期といわれています。

万一、光化学スモッグ注意報が発令された場合には、次のことについてご配慮お願い申し上げます。

1 光化学スモッグが発生しやすい状況

- ・日差しが強い。気温が高い。風が弱い。
- ・遠くの山や建物がかすんで見えにくい日は要注意です。

2 光化学スモッグ注意報発令時に気をつけていただくこと

- ・なるべく屋外には出ないようにし、激しい運動は避ける。
- ・目やのどに刺激を感じた場合は、洗眼、うがい等し、屋内で安静にする。(窓を閉める。)
- ・洗眼やうがいをしても症状がよくなる時は、医師の診察を受ける。



【微小粒子状物質 (PM2.5) について】

東予地域において、微小粒子状物質 (PM2.5) の濃度が国の暫定指針値である日平均値が1立方メートルあたり70マイクログラムを超えると予測される場合に、愛媛県が注意喚起を実施します。

1 注意喚起する時間帯

- (1) 午前8時ごろ・・・屋外で活動する機会の増える日中の行動の目安として
- (2) 午後1時ごろ・・・日中の濃度上昇を考慮し、午後からの活動に備えて

※ただし、(1)により注意喚起を実施した場合には、(2)の注意喚起は実施しません。

PM2.5が中国から飛来!



2 注意喚起があった日の行動の目安

- ・なるべく外出や屋外での激しい運動は控える。
- ・呼吸器系や循環器系疾患のある者、小児、高齢者等においては、体調に応じて、より慎重に行動することが望まれる。
- ・部屋の換気や窓の開閉を必要最小限にし、外気の屋内への侵入を減らし、その吸入を減らす。